

議会だより はとやま



Hatoyama

埼玉県鳩山町議会発行

No. 163
2024. 2. 1発行

町民と議員のまちづくりカフェで熱心に話し合い (取材記事はP2・3、P16)

特集「町民と議員のまちづくりカフェ開催」…2～3	
12月定例会報告	
施設の相互利用で利便性UP ……4～5	
町政を問う！一般質問11議員が質問 ……7～12	
常任委員会レポート ……13	
一部事務組合議会報告・臨時会報告 ……14	
視察にきたよ！ ……15	
いま、それ、気になるHATOYAMA vol.3	
「町民と議員のまちづくりカフェ」・編集後記…16	

くりカフェ開催



できる
やま



令和5年11月19日(日)に地域包括ケアセンターにおいて『町民と議員のまちづくりカフェ』を開催しました。

今回は、テーマを決めて、オープンで自由な会話を通して、新たな発想やいきいきとした意見交換ができるように、「町民の皆様、意見を聴きたい」、「町民の皆様と一緒に考えたい」との思いで、少人数の6テーブルに分かれて、参加者の皆さん全員が気軽に積極的に発言できるようにして、多くのご意見やご要望、またアイデアを出していただきました。たくさんのご意見ありがとうございました。

なお、紙面に限りがありますので、詳細は議会ホームページをご覧ください。

2 〈防災対策〉

地震・火災
・防犯

避難所・備蓄品

「生命・財産を護る」

水害対策

災害情報伝達

交通安全対策

地域の
助け合い

1 〈空き家対策〉

解体の問題

相続の問題

行政施策

移住支援

空き家の有効活用
と情報発信

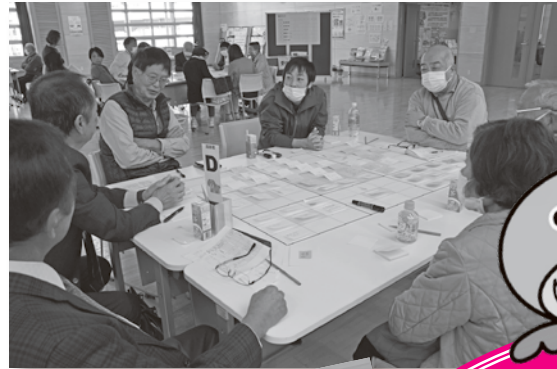
子育て支援

「空き家を減らして町の魅力をアップする」

交通問題

管理不全空家

町民と議員のまちづ



みんな
はと



■ 鳩山町を一緒に考え、楽しく語り合う

今回は、「幸福な地域助け合い社会の実現に向けてくみんなしあわせな町に」を目的に、町民の皆さん29人と12人の議員が、4つのテーマについてテーブルごとに活発に話し合い、まとめたものを発表しました。

- テーマ1 空き家対策
- テーマ2 防災対策
- テーマ3 高齢者のくらし
- テーマ4 少子化対策

アンケートを含む懇談会でのご意見は、今後の議会活動に生かしたいと考えています。なお、今後も懇談会について、一層充実した取り組みとなるよう、鋭意検討を重ねて実施してまいります。

4 〈少子化対策〉

子育て施策
の充実

Uターン

「こどもの笑顔がいっぱいに」

人口流入

結婚しよう

子どもを育てようと
思える環境づくり

地域の見守り

3 〈高齢者のくらし〉

健康増進

栄養

情報共有

「豊かな老後」

お金の管理

交通網の整備

認知症対策

「高齢者が輝き安心して暮らせる町」

生きがい
を持つ

コミュニティー
の充実

施設の相互利用で利便性UP



川越市初雁公園野球場



なぐわし公園PiKOA



坂戸市民総合運動公園



ゆずの里オートキャンプ場

レインボー協議会に加入決定(令和6年4月から)

- 一般職員の給与に関する条例の一部改正
- 期末手当を0・05月分引き上げ、勤勉手当を0・05月分引き上げる。
- 町長等の給与等条例の一部改正
- 期末手当の支給割合を
- 10月分引き上げる。
- 会計年度任用職員の報酬に関する条例の一部改正
- 期末手当の支給割合を
- 05月分引き上げる。
- 議員の報酬等条例の一部改正
- 期末手当の支給割合を
- 10月分引き上げる。

第4回定例会

令和5年第4回定例会が11月28日から12月7日までの10日間にわたり開催されました。
町長提出議案は町条例の制定に関するもの11件、指定管理者の指定に関するもの2件、補正予算の議定に関するもの5件、町道路線の廃止に関するもの1件、人事に関するもの1件の20議案で、すべて原案通り可決・同意されました。
また議員発議は「議員報酬条例の改正」と「委員会条例の改正」で、可決され、意見書1件は賛成少数により否決されました。

〈反対討論〉

物価高のなかでは、住民感情から考えて上げられるものではない。
(根岸)

人事院勧告に従う必要はなく、住民とともになり手不足や持続可能な議会のあり方について今後検討すべき。
(野田)

令和5年度一般会計補正予算第5号

問 子ども医療費の増額補正は、当初予算案の際にこの予算では不足するのではないかと指摘した18歳までの窓口無償化の影響か。
答 コロナ禍が落ち着い

たこともあるが、指摘のとおりである。

問 秋開始の際に不足した新型コロナのワクチンの確保ができて役務費を増額して案内のハガキを発送したとのことだが、接種状況はいかがか。
答 現在は余っている状況だ。

〈反対討論〉

マイナンバー制度に係る国庫補助金を受けることに反対する。
(根岸)



**公平委員会委員に
吹井久仁子氏**

公平委員会委員の任期満了に伴い、吹井久仁子氏（小用在住）を選任することについて同意しました。



**川越都市圏まちづくり
協議会加入に伴う関係
条例の整備**

問 レインボー協議会加入に際して町の負担額は、

答 協議会事業費400万円と見込み、町の負担額は来年度28万円の見込み。

問 町内施設も相互利用ということで町外からの利用者も増えるだろう。社会体育施設の老朽化も進んでいる。しっかりと点検整備を要望する。

答 適切な管理に努めていきたい。

〈反対討論〉

町の施設の利用が人口の多い自治体に取り残されてしまい、町の税金で作った意味がない。（根岸）

〈賛成討論〉

他市町施設の相互利用については、多くの町民から要望もあった。メリットの方が大きい。（大賀）

この協議会加入については、単に施設の相互利用だけではなく地域間交流、自然散策に来ていただき、鳩山町の魅力を知ってもらい、移住促進にもつながる。（関根）



**行政組織の改正
産業環境課が2課に**

問 現行の8課から9課に増えて課長職も増えるが職員も増員するのか。

答 まだ確定していないが派遣職員も含めて3人か4人程度増員の予定。

**泉井交流体験エリアの
指定管理者の指定**

問 1業者のみ応募とのことで提案者から利用者を増やすための提案はあったか。

答 積極的に自主事業に取り組むとのことだ。

問 契約金額が明示されていないが。

答 町が提案した1010万円以内という内容だ。

問 今宿コミュニケーションターの管理料と比較して300万円程高いように思うが。

答 自主事業に取り組んでおり、一概に比較はできない。

発議第6号「国民健康保険に対する国庫負担の増額等を求める意見書案」が賛成少数で否決

（要旨）

被保険者の負担能力を越えた保険料水準であり、国保都道府県単位化による平準化政策は国保税の大幅値上げを伴う。よって以下の早急な実施を求める

- ①国庫負担率を上げること
- ②未就学児均等割保険料半額免除を18歳まで全額免除とすること

〈反対討論〉

会期中に唐突に提出するのではなく、議会が設置している政策研究会や、常任委員会等でその必要性や意義について議論し、議員間で課題の共有を図り、合意形成に努めるべき。

意見書の実績づくりではなく、議会として提出するための丁寧な準備が必要だ。（大賀）

〈賛成討論〉

当意見書は国保と未成年者だけの保険料の軽減を求めている。だが、後期高齢者医療保険料は一回近い負担となり、年金生活者にとって、物価高の中、厳しい負担となっている。これこそ軽減すべきである。当意見書は後期高齢者をないがしろにした偏った意見書となっているため、賛成はできない。（関根）

〈賛成討論〉

国民健康保険は国民の4人に1人が加入し、国民皆保険制度の重要な柱である。加入者に重い負担となる国保税の値上げが相次ぐ状況の中、国が国庫負担額を十分保障して国保を社会保障として存続させることはごく当たり前の話である。加入者が安心して必要な医療を受けられるために、国

（清水）

庫負担の増額を強く要望。保険者にとって負担能力を越えた保険水準となっている。他の医療保険に比べても収入に対する保険料率が高い。前期高齢者の比率が高く、一人当たりの医療費は増加せざるを得ない。県の統一料金の政策は国保料の大幅値上げを伴うもの。被保険者の負担能力に応じた財政支援を求める。（根岸）





「私たちは賛成・反対しました」

○は賛成 ●は反対 議は議長

令和5年第4回定例会 議案		議 員 氏 名											審議結果	
		清水 秀幸	関根 清隆	中山 明美	日坂 和久	小鷹 房義	森 利夫	松浪 健一郎	野田 小百合	石井 計次	根岸 富一郎	大賀 広史		石井 徹
町長 提 出	一般職員の給与に関する条例の一部改正 人事院勧告等を踏まえ職員の給与等を引き上げるもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	町長等の給与等に関する条例の一部改正 期末手当等の支給割合を引き上げるもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	会計年度任用職員の報酬等に関する条例の一部改正 職員の給与の引き上げに伴い、報酬等を引き上げるもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	令和5年度一般会計補正予算（第5号） 2,797万円追加し、給与改正への対応等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	議	原案可決
	令和5年度介護保険特別会計補正予算（第2号） 歳入歳出それぞれ222万円の追加	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	令和5年度水道事業会計補正予算（第2号） 給与改正に伴う追加や漏水調査委託料等の追加	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	令和5年度下水道事業会計補正予算（第3号） 給与改正等により追加する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	川越都市圏まちづくり協議会加入に伴う関係条例の整備に関する条例の制定 レインボー協議会へ加入し、公共施設の相互利用が可能に	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	議	原案可決
	災害派遣手当等の支給に関する条例の一部改正 新型インフルエンザ等対策措置法の改正による条文を変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	鳩山町の組織及び任務に関する条例の一部改正 産業環境課を地域創生環境課と産業振興課の2課に分割する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	国民健康保険税条例の一部改正 健康保険法等の改正により、条例を一部改正するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	議	原案可決
	重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部改正 障がい者を支援するための法律改正に伴い、条例を一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部改正 就学前の子どもに関する法律の改正に伴い、条例を一部改正するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	空家等対策協議会条例の一部改正 産業環境課の分割に伴い、条文を変更するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正 地方自治法の改正に伴い、給与の種類等の条例を一部改正するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	コミュニティ・マルシェの指定管理者の指定 引き続き(株)アール・エフ・イーを指定するもの（5年間）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	泉井交流体験エリアの指定管理者の指定 引き続き(有)戸口工業を管理者として指定するもの（3年間）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	令和5年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号） 歳入歳出それぞれ2,008万円を追加するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	町道路線の廃止について 小用地内の28m間は現在機能がなく、利用見込みがないため廃止するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	公平委員会委員の選任について 新たに吹井久仁子氏を選任することへの同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
議員 提 出	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正 町長等の給与改正に伴い、期末手当を引き上げるもの	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	議	原案可決
	議会委員会条例の一部改正 産業環境課の分割により、委員会条例の条文を改正するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	国民健康保険に対する国庫負担の増額等を求める意見書案 国に対し、国庫負担の増額等を求めるもの	○	●	●	○	○	●	●	○	●	○	●	議	否 決

令和5年第2回臨時会 議案 (記事はP14)		議 員 氏 名											審議結果	
		清水 秀幸	関根 清隆	中山 明美	日坂 和久	小鷹 房義	森 利夫	松浪 健一郎	野田 小百合	石井 計次	根岸 富一郎	大賀 広史		石井 徹
町長 提 出	手数料徴収条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	議	原案可決
	和解について（泉井交流体験エリア整備工事に係る損害の賠償）	○	○	○	●	○	●	●	○	○	○	●	議	原案可決
	和解について（上熊井農産物直売所整備工事に係る損害の賠償）	○	○	○	●	○	●	●	○	○	○	●	議	原案可決
	令和5年度一般会計補正予算（第6号） 歳入歳出それぞれ1億9,544万5千円の追加	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	議

※わかりやすくするために、議案名を一部省略しています

町政を問う!

一般質問 11議員が質問

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開催される定例会で、町政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。

本文は質問した議員本人の責任で要約し、執筆した原稿を掲載しています。

関根清隆 議員

- 1 空き家対策と移住推進について
- 2 子育て世帯の移住支援について
- 3 学校教育について

中山明美 議員

- 1 鳩山中学校のデジタル採点システムについて
- 2 お悔やみハンドブックの作成を
- 3 インフルエンザワクチン接種の補助を

大賀広史 議員

- 1 高齢者支援
- 2 教育行政と子育て支援
- 3 役場内の職場環境について

清水秀幸 議員

- 1 带状疱疹のワクチン接種費用の助成について
- 2 高齢者の運転免許証自主返納について
- 3 認知症対策について
- 4 防犯灯のLED化について

松浪健一郎 議員

- 1 国の予算額1000億円ある、国民健康保険保険者努力支援制度について
- 2 これからの国保運営の方向性について

日坂和久 議員

- 1 鳩山町の人口について
- 2 町の将来的交通のあり方について

野田小百合 議員

- 1 小中学生の登下校の安全確保について
- 2 これからの国民健康保険税について
- 3 健康と環境を守ることに
- 4 生理用品を公共施設等への配置について

石井計次 議員

- 1 多面的機能支援事業について
- 2 町道敷地や河川敷地の管理について
- 3 地域未来投資促進法について
- 4 泉井交流体験エリアについて

根岸富一郎 議員

- 1 介護保険について
- 2 健康教室について
- 3 学校給食について
- 4 山林の大規模太陽光発電建設について

小鷹房義 議員

- 1 新規就農について
- 2 今年度の動物による農作物被害について
- 3 幼稚園の3年保育について

森 利夫 議員

- 1 町の将来について
- 2 給食センターについて



関根 清隆 議員

空き家対策も移住推進もインパクトのある政策を

空き家・移住

空き家、移住推進に支援体制を

前向きに検討する

問 空き家対策と移住推進について

答 特定空家行政代執行除去費用、家財除去補助金、売買手数料補助金、移住者向けリフォーム補助金等の予算確保。鳩山NT商店街有効活用政策、ワンストップ・サポート体制、空き家所有者・移住者向けガイドブック作成を提案。いかがが。

問 積極的な空き家対策に向けて提案の補助金等について、予算編成の中で検討中。ガイドブックは作成に向け検討中。

問 子育て世帯の移住支援について

答 出産祝金の増額、移住世帯に20万円程の支援金を提案。いかがが。

問 国の補助金を活用し伴走型相談支援・経済支援などを行なっている。増額は、全て町負担となり持続的財源確保が必要。

問 学校教育について

答 給食無償化の見直しはいかがが。

問 来年度には実現できないよう、取り組んでいきたい。

移住推進ワンストップ相談窓口



問 義務教育で、魅力ある独創的な教育プログラムの企画・実践は可能か。

答 可能。具体的には劇団四季の観劇、有名ヴァイオリニスト、二期会、オペラなどの鑑賞。レクサス工場のリモート見学、オーストラリア中学生とインターネットで英語の「体験学習」、田植え体験などを実施。今後も特色ある教育を推進する。

問 通学時、教科書とタブレットは重く負担なので、教科書をクラウドから参照できるようにし、教科書の持ち運びを軽減できないか。

答 クラウド化は一部できているが、追加には費用がかかるため難しい。

中山 明美 議員



困ったときにハンドブックがあるって心強い

遺族の負担軽減

お悔みハンドブックの作成を

作成に向けて検討していきたい

鳩山中学校のデジタル採点システム

問 導入の経緯は。

答 生徒個人の間違いの傾向を把握しやすくなり、学び直しや定期テスト後の個に応じた指導の充実を図ることができた。

問 採点しやすい問題にならないのか、記述の問題も採点ができるのか。

答 大きく問題がかたよるといったことはない。文章の内容を自動で採点することは、今はできない。

問 教員の働き方の影響は。

答 超過勤務時間が、前年度と比較して2割減少した。個別の生徒に向き合う時間の確保とともに、個々の生徒に合った適切なアドバイスが、よりやりやすくなった。

問 費用はいくらか。

答 パナソニック教育財団の助成金を利用してソフトを導入したため、町からの費用は発生していない。年間使用料は、9万9000円。

お悔みやみハンドブック

問 町の負担なしで作成できると聞いたが。

答 作成事業者が掲載する業者を募集し、広告料金等で運営している。

問 遺族の負担軽減と町の事務の効率化にもつながること、また、行政サービスの向上及び財政的な負担もないことから、今後、作成に向けて検討していきたい。

問 お悔みやみ支援窓口を開設してはどうか。

答 住民にとって大変わかりやすく便利な窓口である。人間的な配置等も必要なことから今後、検討させていただきたい。



お悔みハンドブックの例

大賀 広史 議員



若手職員の頑張りに、ねぎらいを

職場環境

部下の評価や対話ができる?

課長職の約3割が拳手

高齢者の見守り

問 町内の人口は1万2000人台に突入する。単身高齢者の数は。

答 1280人と約1割。町が行っている、緊急通報装置事業は単身高齢者にとって有益な装置だ。もう少し周知を。

問 月額1000円から利用できる、警備会社と連携した高齢者見守りシステムだ。広報に努める。

問 高齢化が進み、町職員だけでは対応できないほど福祉需要は増加する。今こそ地域共生社会の取り組みを進めるべき。

問 地域で見守り支えあう、自治会、町内会などの共助の取り組みの強化を町としてお願いしたい。

不登校

問 鳩中の不登校率は。

答 昨年度213人の生徒数に対し21人、約10パーセントとかなり多い。

問 心に困難を抱えている生徒にはしっかり寄り添い、対応をお願いする。一方で、学校に行かなくてもよいという昨今の

風潮は無気力を蔓延させる。

役場の職場環境

問 昨年度は8人もの職員が中途退職した。原因は職場環境ではないのか。

答 過去10年で最も多く退職者が出てしまったが、要因は分からない。

問 町長は一貫してモラハラやパワハラがないとの立場をとっているが、この1年で職員への指導で改善したことはあるか。

答 昨今、首長のパワハラが問題になっているが、自身として気を付けていくが、在職中に職員に対し業務を超えた命令をしたようなことはない。



緊急時にボタン一つで救急要請や警備員が駆け付け

清水 秀幸 議員



町民の健康を守り医療費を削減することは重要

带状疱疹ワクチン

接種費用の助成はできないか

財政調整し公費助成を進めたい

問 带状疱疹の激しい痛みや後遺症の心配からワクチン接種を希望する人が多くいる。ワクチン接種費用を助成している県内自治体の実施状況は。

答 予防ワクチンは、带状疱疹や带状疱疹後神経痛が発症する可能性を大幅に低下させることが分かっており、接種費用が高額であるものの、その需要は増加傾向となっている。そしてまた、公費助成を行う県内自治体も増加傾向にあり、特に近隣市町の坂戸市、越生町及び毛呂山町、比企医師会管内では、ときがわ町と川島町が助成事業を開始している。

問 近隣市町では接種費用の助成をすでに開始。鳩山町は、「健康長寿のまち はとやま」宣言のキャッチフレーズを掲げており、この宣言を実行するためにも、今こそ、町民、特に高齢者が元気で長く健康でいられる社会を実現させるため、带状疱疹ワクチンへの費用助成を実行すべきではないか。



答 今後は町民の方からのニーズも高まってくるものと認識しており、町としても、带状疱疹ワクチン接種費用の助成について、財政担当と調整の上、進めていきたい。

認知症対策について

問 地域で認知症の人や家族を手助けする「認知症サポーター」を養成する講座の現状と課題は。

答 令和4年度は、養成講座を4回開催し、合計108人が受講された。課題は、受講サポーターからなる支援チームによる具体的な支援につなげる仕組み作りが必要。

松浪健一郎 議員



国保税の値上げは嫌だなあ...

国民健康保険

国保税の値上げは

県の税率に合わせる

問 国の予算額1000億円ある、国民健康保険保険者努力支援制度の概要は。

答 平成30年度から県が財政運営の責任を担う都道府県広域化に伴い、保険者（町）が医療費適正化の取り組みを設定して達成状況に応じた評価分として、国が交付金を交付する。令和2年度からは、予防、健康づくりの取り組みも創設され、取り組み達成等の事業費分と、健康づくり等の事業費連動分を合わせた交付金が交付されている。

問 鳩山町の交付額は。

答 令和4年度決算ベースで約1171万円。

問 国保運営の将来の見通しは。

答 団塊の世代が後期高齢者医療制度に移行するにあたって、被保険者数と保険料減少が懸念材料。

問 保険者が町から県に変わると、今よりも保険税の負担が増えるのでは。

答 令和9年度に県の準統一、令和12年度には県の完全統一、県が示す標準保険税率に向けて、税率の引き上げをはかる。ただ、急激な増額、急上昇にならないように、段階的な方策を考えていく。

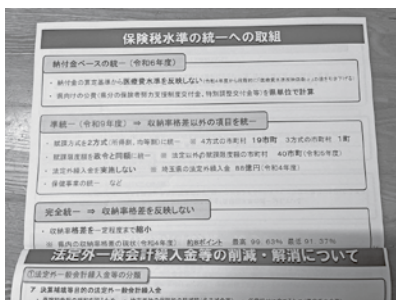
問 特定健診の受診率は48・1パーセント。

問 法定外繰入金は（国保への税金の投入）。

答 平成29年度以降はない。

問 余った財政調整基金の取り扱いは。

答 保険料減税には使えない。いま行っている特定健診時のがん検診の補助の増額、がんのスクリーニングの費用負担等、運営協議会で協議しながら検討したい。



令和12年度に税の統一が待たれる

日坂 和久議員



若年層移住策と高齢化対策は表裏一体では

町の頑張った率

推計人口と実人口はどうだったのか

移住施策等で推計より多かった

問 人口動態と地方創生施策
町の過去一年間の人口推移を伺う。

答 自然減182人、社会増7人、計175人減少。

問 国立社会保障人口問題研究所（社人研）が、地方創生の施策を取らなかった場合の人口を推計している。実人口と推計の差は何人か。

答 実人口は推計より272人多かった。

問 地方創生施策の観点から「頑張った率」が高いとの考えか。

答 移住施策等により、社会増が若干伸びた。

問 自治体は若年層移住推進のため、どこも同様の施策を打ち出している。近隣より特に優れている施策は何か。

答 子育て支援ソフトウェアだ。今後、遅れている若年層の移住促進補助事業に取り組む。

問 別の視点から、アクティブシニア等へ、生活娯楽等のサービスを提供する若年層の呼込策を施行しては。

答 既にいくつか実施。将来的交通のあり方

問 今年度のアンケートにおける主な要望は。

答 デマンド町外運行範囲拡大、路線バス夜間増便、鉄道駅整備等だ。

問 改善・実現可能か。

答 デマンドの法制度改正、路線バス業者の運転手不足解消等が課題。鉄道駅は現実に無理だ。

問 基軸のデマンドと路線バスの改善が困難な場合、輸送資源を総動員して補完制度を創るべき。

答 福祉関連の移動支援や自家用有償運送・ライドシェア等も検討する。



移住促進はパイの取り合い

野田小百合議員



物価高、重い税負担…暮らしはピンチ！

国保税

国費負担の増額が必要ではないか

町としても強く要望していく

問 差押え世帯数は。令和2年度のべ35件、令和3年度のべ42件、令和4年度のべ30件。

問 まず払えなくなつたらどうすればいいのか。

答 納期限前の早い段階で納税相談をお願いしたい。個々に応じた納付計画を一緒に考え、早期完納につながる対応をする。

問 分納等の対応をしている件数は。

答 現在、分割納付誓約による納付は22件。

問 短期被保険者証交付件数は。

答 33件。

問 町独自に0歳から18歳までの均等割額を減免しているが、対象世帯数の現状は。

答 令和8年度までの4年間の限定として、今年度から実施。10月末現在の実績では、102世帯、165人。減免見込み440万円。

問 国保は年齢構成が高く、医療費水準も高い。非正規労働者も多い。もともと弱い立場の人が多く。国費負担の増額がない

ければ厳しい運営になることは目に見えているのではないか。

答 町としても公費負担を国に強く要望していく。

問 県で令和12年度に完全統一された場合、保険税の値上げなどの影響はどのようなか。

答 県が示す都道府県標準保険税率と、現在町が賦課している税率を比較すると、所得割が2.13%、均等割が1万8476円の上昇となる。

税率の引上げを図る必要があるが、急激な負担とならないよう、町国保運営協議会で検討したい。

埼玉県国民健康保険運営方針

「県内で保険料水準を統一」

- 令和9年度から収納率格差以外の項目を統一できるように取り組む。(準統一)
- 令和12年度からの完全統一をめざす。



石井 計次 議員

高齢化と共に
管理が困難になる

地域の保全管理

多面的機能の推進を

積極的に必要な支援を行う

問 多面的機能支援事業について

答 事業の概要を伺う。

問 農林水産省所管の交付金を活用して実施される事業。概要としては、農用地、水路、ため池などの草刈りや用排水路等の泥上げなどの活動などが主な活動対象となっている。

問 活用するための要件はどのようなか。

答 国の実施要綱等により第一段階として、事業の実施主体となる「活動組織」の設立。活動組織は農業者、地域住民、自治会など多様な主体の参画が実施要綱等に示されている。

第二段階として、活動目標等を記載した事業計画案の策定。

なお、計画案に関して市町村長の認定後に、事業の実施が可能となる。

問 当該事業の町内団体の現状を伺う。

答 本町では、奥田地区、須江地区、泉井地区、大豆戸地区の計4地区で、本事業に取り組んでいる。



地域力で田園景観を守る

活動組織の構成や内容等に4地区異なるが、農用地周辺の景観維持などに取り組んでいる。

問 交付される補助金について伺う。

答 負担割合は、国が50%、県及び町が25%となっている。令和4年度の町内4組織の合計交付額は、536万円となっている。

問 新たに設立を検討とされる団体への支援はいかがか。

答 当該事業の活用を検討している地域等に対し積極的に必要な支援を行っている。

介護保険

統一料金が提示されると負担は増える

統一料金を提示していない



根岸富一郎 議員

介護も高くなるよ！

問 令和6年度から(9期)になる。どのような特徴か。

答 高齢化率の上昇に伴う利用者増、それに対応したい。

問 保険料など、もういいのではないか。

答 今後、正式な通知等が来る、町の審議会で議論したい。

問 予算で余ったお金は、一度執行したもだから基金に積立てた方がいいのではないか。

答 翌年度以降の支払いに備えるために、基金等に積立てている。

8期では、基金を6282万7千円取り崩している。

問 埼玉県で統一料金となると、住民の負担ばかりが増えるのではないか。

答 国は統一料金を提示していないが、月額4800円各自治体に、数値の提示があった。

問 健康教室に住民負担があるが、町で費用を負担できないか。

答 健康づくりサポーターの会と、はあとふる

パワーアップの状況の違いから、負担が発生しているのではないか。

問 給食費について、国の補助金等を待つのではなく、町で無償化の方針が持てないか。

答 令和6年度町の予算編成では、無償を検討している。

問 その後も町の方針で良いのか。

答 町の方針として、無償化できるよう努力したい。

問 森林の持つ機能など、わざわざ入居したので団地ができた。どのように考えるか。

答 森林は、保水能力、生物多様性などの機能を有している。

自然と公共の福祉を考え、適正なものに誘導したい。



介護保険「どうしました。」

小鷹 房義 議員



幼稚園は楽しいよ

幼稚園教育

どのように変わるのか

保育時間の拡大、学校給食の導入

新規就農者の現状について

問 今まで、何人の方が就農したのか。

答 平成18年度から令和4年度末までに、法人を含め16人の方が就農。

問 農家でない人も農地取得が可能になったのか伺う。

答 本年4月から農地法の改正により、非農家であっても農地取得が可能になった。

動物による作物被害

問 近年作物の被害状況はどのようか伺う。

答 最近イノシシやニホンジカによる被害が増加しており、農作物全般で被害が発生している状況である。

捕獲頭数を年度別に言

うと、令和3年度イノシシ3頭ニホンジカ5頭、令和4年度イノシシ12頭ニホンジカ6頭、令和5年度11月25日現在イノシシ16頭ニホンジカ3頭

幼稚園の3年保育について

問 どのように周知されているのか伺う。

答 広報はとやま10月号への掲載、幼稚園ホームページ、町公式LINE、本庁1階モニターなど、さまざまな情報媒体を活用して周知している。

問 どのような教育を目指しているか伺う。

答 近年特に力を入れているのが読書教育で、図書館への訪問、園内図書の家庭への貸出しなど、読書活動の取り組みは、県内公立学校に配布される「埼玉教育」という情報誌に取り組みが掲載された。



バスが待っているよ

森 利夫 議員



この答弁と同じように、職員に対応していたら問題だ

中途採用職員

10月に専門職の採用が多いのは

有資格者の欠員を補充するため

問 10月以降、専門職の採用が多いが、どのような事業を展開しようとしているのか。

答 有資格者の退職があったため、欠員補充が主な目的である。

問 将来性のある職員が退職する訳だが、ある程度の原因を把握しているか。

答 自己都合退職の理由について公表はしていないが、新しい仕事に希望を持って転職する職員が多いと思う。

問 令和4年度では自己都合退職者は6人、新規採用職員数も6人、退職者の内訳はわからないが、こんなに多くの自己都合による退職が出るのは、働きがいや職場環境に問題があると推測できる。どの様な気構えで教育や指導をしているのか。

答 公務員の離職率は増加しているが、町では研修制度の充実や処遇改善を実施している。

問 研修制度等を取り入れ、やりがいのある職場にするということだが、

町長は取り組みや指導をどの様にしたか。

答 非常に悪質な質問だ。非常に悪質な質問と言っは納得できない。でも、しょうがないから次の質問に移る。

近隣市町では、配食サービスが自治体が直接運営している所がある。鳩山でも同様にできないか。

答 体制の構築ができれば実施は可能。

問 町が配食サービスを、補助金を他の市町と同程度にできないか。

答 総合福祉計画で検討し、実施に向け取り組みたい。



自己都合による退職者が多い庁舎内部

常任委員会レポート

総務産業委員会

県道岩殿岩井線改良工事と北部地域活性化事業の今後について

令和5年12月5日、所管事務調査を実施しました。

調査事項

重郎橋架け替えを含む県道岩殿岩井線改良工事の進捗

令和4年7月12日の大雨災害で甚大な被害が発生した中、県道改良工事が遅々として進まないこと、当委員会は今年度から通年調査事項として取り上げています。

進捗状況は残り2人の地権者との用地交渉を継続しているが、進捗は特にないとの報告を受け、県任せにせず、町が本気

で取り組む姿勢を、との厳しい意見が出ました。



大雨のたびに冠水する重郎橋付近の県道

北部地域活性化事業の現状と今後について

現在、第2期活性化取組方針に取り組んでいますが、町道整備等は計画に対して遅れており、第2期計画期間では、町道第1号線及び第52号線に

については、当初予定していた工区すべてを完了させるのは難しいとの説明を受けました。

第2期計画終了後の令和9年度からは、第3期計画とはせずに、町の一般事業として、継続すべき事業については、町の財政状況を勘案しながら検討を進めるとのことでした。

現在進めている、上熊井直売所付近の辻川整備事業は、水辺の広場や東山沼への散策路を整備し、ベンチや転落防止柵を設置するもので、熊井の森を含めた観光資源としてちよつくま付近の魅力づくりに大きく期待ができるとの意見がありました。



東山沼の桜（ちよつくまからの散策路）

福祉文教委員会

こども施策を社会全体で総合的かつ強力に実施していくための包括的な基本法

令和5年12月5日、所管の事務調査を行いました。

調査事項

「こども基本法」について

全てのこどもが、幸福な生活を送ることができ、社会の実現を目指して令和5年4月1日に施行されたものです。「差別の禁止」「生命、生存及び発達に対する権利」「児童の意見の尊重」「児童の最善の利益」の趣旨を踏まえ、規定されています。「こども基本法」では、年齢の規定を設けておらず、年齢が必要なサポートが途切れないよう、心と体の発達の過程にある人を「こども」と定義し

題となっている。

鳩山町の子育て世代の支援の取り組みについて

母子保健機能である子育て世代包括支援センターと児童福祉機能である子ども家庭総合支援拠点の両機能を一体的に運営することにより、相談支援や児童虐待対応の体制を強化するというのが、こども家庭センターの設置の趣旨で、名称を「鳩山町こども家庭センターぴっぴ」と改称したいと考えているそうです。

委員会での主な質疑

問 町は、こども計画を作成する予定、計画は。

答 子ども・子育て支援事業計画を行っている。事業だけではなくて政策的な取り組みもする計画となっている。

問 子どもたちの本音を聞き出すのは難しいのではないか。

答 子どもの目線、配慮、どうすれば子どもの意見が素直に出てくるかが課



「子育て世代包括支援センターぴっぴ」で開催したアロマクラフト教室

一部事務組合議会報告

町の事業を他の市町と共同して行っています。

坂戸地区衛生組合

10月19日、朝霞地区一部事務組合のし尿処理場へ視察研修を行いました。構成団体は、朝霞市、志木市、和光市、新座市の4市で、平成30年7月に新しい施設が完了しました。

令和元年の台風19号による浸水被害がありましたが、その後対策を講じて備えているとの説明を受けました。



朝霞地区一部事務組合し尿処理場にて

埼玉西部環境保全組合

11月9日、埼玉西部クリーンセンターの大会議室にて組合議員研修会が開催されました。

講師に（一財）日本環境衛生センター特別参事の齋藤和弥氏をお招きし、「一般廃棄物を取り巻く現状と課題」という演題で、これからの廃棄物処理は社会・経済活動における負の遺産などではなく、地域循環型の共生社会を構築するための夢のある事業なんだということとを学び、廃棄物を資源として捉え、循環していく必要性を再認識しました。

西入間広域消防組合

11月5日、西入間支部・消防署連合特別点検が開催されました。構成3町

に所属する消防団員の服装・規律・機械器具等の点検について、管理者からは良好との評価を受けました。



埼玉県防災センターにて



毛呂山・越生・鳩山 公共下水道組合

11月13日、久喜市にある長島鋳物(株)久喜事業所へ視察研修を行いました。この事業所では約2000自治体向けのマンホール蓋の製造をしていることと、製造過程を中心に研修を受けました。溢水時に蓋が外れない装置や、蓋の上でのスリッパ事故が起きないように技術等を学び、その後毛呂山処理センターの組合施設を見学しました。



長島鋳物(株)久喜事業所にて

臨時会

令和5年12月25日開催

手数料条例の改正

戸籍の証明書の広域公布等が可能になるものなど法改正に伴うもの

問 マイナンバーカードが利用しやすくなるのか。
答 その通り。

〈反対討論〉

マイナンバーカードについて、健康保険証との一本化など、政府が強引に進めているが、不安を感じている住民も多い。
(野田)

〈株田中工業との和解について〉

泉井交流体験エリア及び農産物直売所整備工事に係る不正入札事件の損害賠償に関し、(株)田中工業に対し、約1億4800

0万円の請求額を約8000万円に減額し、和解し今後責任を追及しないことを確認するもの。

問 8000万円に減額とのことだが、返還金の内訳と残額の取り扱いについて伺う。

答 国庫補助交付金の返還金が1654万円、埼玉西部環境保全組合への返還金が387万円。残額の約5900万円を財政調整基金(※町の貯金)に積み立てる。

〈反対討論〉

逮捕された町元職員はこの2件の他にも元社長に金額を教えたと言っている。この10年で町はこの会社に43億円もの工事を発注してきた。

町内外の入札業者に与えた損害や、北部の地元対策費が皆減されたり、大きな禍根を残しており、円満な解決とは程遠く、分割納付や期限を延長しなくても最後まで請求すべき。
(大賀)



視察に来たよ♪

福岡県岡垣町議会 広報委員会の皆さま

コロナ禍が落ち着いた今年度は、全国の議会から鳩山町への行政視察依頼が増加しています。

幸福度ランキングが全国1位となったことが大きな要因で、デマンド交通の実施状況や、健康寿命の取り組みについてなどの研修要望が多く、執行部とともに対応させていただいております。

今回は昨年11月に九州からはるばる来庁して下さった、福岡県岡垣町の視察をご報告いたします。



研修事項

1. 議会だよりの編集について

①編集方針は

「どんなに素晴らしい議会活動も町民が知ることができなければ、その評価は無きに等しい」

②執行部とのQ&Aはどのように掲載しているか
予算・決算議案については、特別委員会での委員長報告を作成する際に、議会だよりに掲載すべき質疑を協議して決めています。
一般質問については議員本人が自らの文責で執筆しています。

2. 町民との議会懇談会について

①開催に至る経緯は

6年前に初の議会報告会を開催しました。その後、第2回を企画したのですが、コロナ禍により開催中止となっており、今回改めて町民と議会のまちづくりカフェという形で開催します。
議会報告会とはせずに、気軽に話し合うワールドカフェ方式としました。

～研修を終えて～

今回は議会の取り組みについての視察ということで、お互いの議会の意見交換を中心に有意義な情報共有が図られました。むしろ直近で開催された議会懇談会の様子をお聞かせいただき、鳩山町議会でも開催されたまちづくりカフェにたくさんのヒントをもらいました。



今年度その他の視察受け入れ

7月	熊本県山鹿市議会 東京都国分寺市議会 岡山県議会 千葉県印西市議会	8月	広島県海田町議会
		9月	熊本県玉東町議会
		10月	和歌山県海南市議会

議会クイズ

問題1

「まちづくりカフェ」に参加した町民の人数は？

△ 29人
□ 28人
◇ 27人

問題2

加入が決まった川越都市圏まちづくり協議会の愛称は？

△ レインボー
□ サンシャイン
◇ スターライト

問題3

議会へのご意見・ご感想をお聞かせください。

● 正解者の中から抽選で、お二人に町の特産品を差し上げます。

(応募方法)

はがきに「答え・住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号」を記入してください。

(あし先)

〒350-0392

鳩山町大豆戸184-16
議会事務局クイズ係

(締切) 2月29日(木)

★前号の答え

① □ ② ハ

162号の当選者お二人
おめでとうございます

○ 藍 政 枝 様
○ 鷹 政 枝 様



町民と議員の まちづくりカフェ



参加された皆さんの声

●カフェはいかがでしたか？

良かった……………28人

- ・ 普段交流のない世代との交流はとても新鮮で、いろいろな意見が聞けて良かった。
- ・ 気負わずに町のことを話せる場はうれしい。
- ・ 楽しい雰囲気になるよう設定されてよかった。
- ・ 和気あいあいと話せた。
- ・ 情報をいろいろ取れて良かった。

●また参加したいですか？

参加したい……………26人

参加したくない… 1人

未記入…………… 1人

- ・ 議員と直接話ができる有意義な機会と思う。
- ・ いろいろなお話が聞けて楽しかった。
- ・ 町内の方を互いに知ることができて良かった。
- ・ 他の地域、若い人たちの意見を聞くのが勉強になります。
- ・ 自分の意見を言えて良かった。
- ・ こういう話し合いの会はもっと頻繁に行うべき。
- ・ みなさんのご意見をお聞きできて良かった。

●開催希望回数は？

年1回…………… 9人

年2回……………17人

その他…………… 1人

ワールド・カフェって何？

気楽に楽しく会話ができる「カフェ」にいるような、リラックスした雰囲気の中、立場や年齢も関係なく、少人数で自由に対話し、また他の人の意見も聞きながら話し合いを発展させていく手法です。



(議会クイズはP15)

次回定例会は
2月28日から
(予定)

- 請願、陳情は2月20日17時までに提出してください。
- 議会ホームページから音声配信しています。速報版は翌日(休日を除く)から配信されます。
- 議会だより音訳版をご利用ください。必要な方は議会事務局へご連絡ください。



編集後記

元日の夕刻、能登地方を襲った大地震。恐怖・心労・避難者のさまさまな「SOS」に対し、消防隊・自治体・自衛隊等の懸命な活動に頭が下がる思いです。

憲法が示す、「国民の最低限の暮らしを守る」、有事の時こそ総理はもとより、それぞれの首長の最大限のリーダーシップが問われると思います。各自治体には災害に備え、水・食糧・簡易トイレ等備蓄があります。一刻も早く被災地へ応援物資の提供に務めていただきたい思いです。被災地の一日も早い復興を心から願うばかりです。

(1月7日 石井計次)

第163号編集委員

- | | | | | | |
|------|------|------|-------|------|------|
| 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員長 |
| 清水秀幸 | 中山明美 | 小鷹房義 | 松浪健一郎 | 石井計次 | 大賀広史 |



● 鳩山町議会ホームページは「鳩山町議会」で検索してください。

令和6年2月1日 発行

(〒350-0392 埼玉県比企郡鳩山町大字大豆戸184番地16)